

口腔から始める抗老化 — 歯周病コントロールが健康寿命を支える —

医療法人社団真健会 表参道若林歯科医院
理事長・院長
若林 健史 (Kenji Wakabayashi)



【要旨】

超高齢社会を迎えたわが国では、単なる寿命の延伸ではなく、健康寿命をいかに延ばすかが重要な課題となっている。歯周病は歯を喪失する主要な原因であると同時に、慢性的な炎症性疾患として全身の健康にも影響を及ぼすことが知られている。近年、歯周病と糖尿病、心血管疾患をはじめとする全身疾患との関連が報告され、口腔の慢性炎症を適切にコントロールすることは、抗老化医学の観点からも重要と考えられる。また、高齢期において自分の歯を維持し、十分な咀嚼機能を保つことは、良好な栄養摂取や社会生活を支え、QOLの維持にもつながる。本講演では、歯周病の発症・進行のメカニズムと全身との関連を概説し、歯周基本治療、セルフケア、継続的なメンテナンスの重要性について解説する。さらに、健康寿命の延伸という視点から、抗老化医療における歯科・口腔管理の役割について考察する。

【略歴】

1982年、日本大学松戸歯学部卒業。歯学博士。

1989年、東京都渋谷区代官山にて若林歯科医院を開業。

その後、恵比寿を経て、2024年に表参道へ移転し「表参道若林歯科医院」を開業。

長年にわたり歯周病治療および予防歯科を中心とした臨床に従事するとともに、歯科医師・歯科衛生士の教育、学会活動、講演・執筆活動を行っている。日本大学客員教授。

【所属学会・所属団体】

日本大学客員教授

日本歯周病学会 理事・歯周病専門医・指導医

日本臨床歯周病学会 認定医・指導医

アンチエイジング歯科学会 常任理事・認定医



一般社団法人

国際抗老化再生医療学会
World Academy of Anti-aging & Regenerative Medicine